

*** 耳より情報 ***

- ◆浦和区後援会総会
4月28日(土) 14時
クラブ
- ◆メーデー埼玉中央会場
5月1日(火) 10時
北浦和公園
- ◆9条改憲NO! 平和と
いのちと人権を!
5.3憲法集会
5月3日(祝) 11時
有明防災公園
- ◆オール埼玉総行動
1万5千人集会
6月3日(日)
北浦和公園

うらわ宿文芸
うらわだ(い)

森友・安倍案件を
経済用語で見てみると
学園設立＝業務提携
用地売買＝靈感商法
特例決裁＝限定セール
安倍発言＝先物買い
決裁文書改ざん＝二重帳簿
佐川答弁＝×詐欺
財務省＝ブラック企業
政治の私物化＝独禁法違反
(前地 さ(い)老)

安倍政権の体質
ウソツキ
ゴマカシ
インペイ
ゴウマン
(岸町 佐久間純)

川柳

ウソにウソウソを重ねる安倍総理
春来てはまだ冬です我が財布
署名せず世界から孤立わが日本
(岸町 タン吉)

改ざんの正体見たりメオト影!
しおらしく全容解明言えた義理?
学び舎にお上り出しヒラメ化に
(前地 さ(い)老)

四月句

花を出て花を降り来る観覧車
チューリップの中に母居る童女の絵
深川の遊女の墓や柳陰
(前地 S・M)

金管の楽晴れ晴れと卒業す
立つ時の肩の貸し借り花筵
花の山大きな声の上がりけり
(本太一 Y・Y)

距離が近づき元気になれた
—木崎後援会花見のつどい—

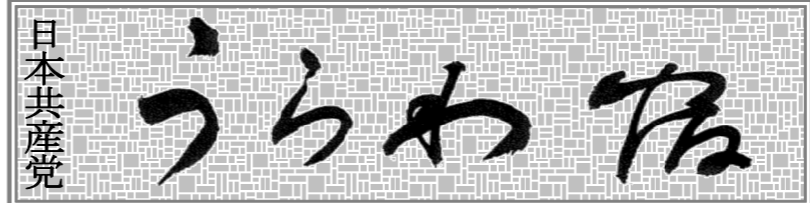
見沼用水縁の桜が満開の中、17名(子ども2名)の参加でお花見を開催しました。初夏を思わせる少々暑い天気でしたが、気持ちの良い時間を過ごすことができました。とりうみ市議の挨拶では、清水市長の多額の税金をつぎ込んで民間の再開発を誘発するというやり方は賛成できない。さいたま市は保育園、学童クラブ、特養がまだまだ足りない。市

民の暮らしを何とかしなくてはならないという思い。そしてやり残したことがあるということで、来年の市議選に立候補されるということです。終盤に、「ね、距離が近づいたでしょ」とWさん。食べて飲んでおしゃべりして歌って……。そういうことだったんだとハッとさせられました。何だかとても元気になれた一日でした。(木崎 1子)



《ロク々想》

「その質問は刑事訴訟の恐れがありますので答弁を差し控えてさせていただきます」と佐川宣寿・前財務省理財局長が連発。その表情は申し訳なさそうに見えるか当然だろうという風に見えるか。▼「こんな証人喚問やって意味がないじゃないですか」という小池晃書記局長の断罪がすべてを物語っている。が、虚しく響く。いったい改ざん問題はどうか。▼このままののだろうか。▼このままだと時間のかかる法廷サスペンスものに矮小化されうやむやになってしまおうだろう。ことは、巨悪の国家的犯罪かもしれないのだ。被疑者は様子を見ながら反撃に出てくるかもしれない。こんな茶番劇のドラマでなく、本気の告発ドラマを見たい。(英)



日本共産党浦和区後援会ニュース
2018年4月号・No.82
浦和区北浦和3-14-16
TEL/FAX 048-833-4515
***** (部内資料) *****

さよなら安倍内閣 議員も市民も全員集合

NO MORE SILENCE

森友問題で3月27日に佐川宣寿前財務省理財局長への証人喚問がおこなわれましたが、改ざんへの政治的圧力や土地取引における行政私物化疑惑がますます深まりました。安倍内閣の支持率は31%まで急速に下落。国民の怒りは沸騰中です。



あってはいけない公文書改ざん——だまってはられない

3月29日に浦和駅前前で標記のイベントが開催されました。このイベントは安保関連法に反対するママの会@埼玉をはじめとする市民団体が中心になって開催され、参加者でパルコ前をうめつくしました。ライブやシール投票も行われ、市民から次々と怒りの発言が出されました。また、政党からは、立憲民主党(浅野目義英県会議員/山川ゆり子衆議院議員大島秘書)、日本共産党(梅村さえ子前衆議院議員/伊藤岳参議院予定候補/村岡まさつぐ県会議員/寺田玲市会議員・富士見市)、社民党(福島瑞穂参議員議員)、武正公一前衆議院議員が参加しました。参加者の発言を紹介します。(編集部 阿久津)

- 男性(40代・大学教員)**
今の政治が続いたら、戦前どころか、明治維新前の時代に戻ってしまう。国民がなめられている。議院内閣制の危機だ。
- 男性(40代・会社員)**
ビジネスの世界でもウソを言わない、約束守ることは大前提だ。いまの安倍内閣はこの常識をすべて切り捨てている。人として生きる上での1番大切なことを壊している。いい社会をつくるにはどうしたらいいか考えていきたい。
- 男性(70代)**
財務省のやった文書改ざん。犯罪だ。私たちの戸籍や住民票が勝手に変えられていたらどう

- 思いますか。それと同じことを国がやった。部下の失敗は上司が責任とるのが当たり前。安倍首相、麻生財務相が責任をとるべき。すべてを明らかにして、元どおりにしなさい。
- 女性(30代)**
佐川氏への喚問ですっきりした人はいますか?丸川珠代議員との茶番劇で丸川さんをステキだと思った人いますか?悪政の繰り返し「喉元過ぎれば熱さ忘れる」と日本人は忘れてきた。でももうやめよう。
- 男性(40代)**
公務員は全体の奉仕者。一部の奉仕者でない。国民が望んでいないことばかりやる安倍内閣に見切りをつけよう。

* * * * *

第10回マスタース国際スピードスケート スプリント・モスクワ大会に参加して



3月3日 大会第1日目

平昌冬季オリンピック／パラリンピックの興奮がまだ残っていますが、30才以上の世界のスピードスケートのスプリンターが集まる競技会に参加した上木崎8丁目在住の細田俊彰さんから寄稿がありましたので、一部抜粋して紹介します。尚、全文は後日ホームページに掲載予定です。

(編集部 古澤)

☆☆☆☆☆

2018年3月3日・4日の2日間にわたり、標記大会がモスクワで開催された。主催者は、国際マスターススピードスケート委員会で、ロシア、オランダ、ノルウェー、フィンランド、ドイツ、イタリア等から約150名が参加。日本は、北海道、岩手、長野、千葉、愛知等から14名が参加（うち女性選手は2名）。日本選手団は、2月26日成田から8000km離れたモスクワに飛んだ。

モスクワは午後2時、気温は-15℃。でも雪は溶けないため雪はサラサラのまま踏み固められて、その上を歩いても滑ることはない。大会当日までは、6時間の時差に体を慣らしながら、会場のモスクワ郊外のクリラトスカヤ屋内スケート場で調整を行なった。収容数はMウェーブの4倍ほどありそうな大きな建物。室温は15℃、氷温は-11℃に管理されており、大変滑りやすい氷である。日本ではMウェーブがそうであるように、リンクの内側はベンチなどが置かれ陸になっていることが多いが、ここはスケートを履く一部分を除き全面が氷である。そこで、小さな子どもたちが大勢フィギュアの練習をしていて、スケートロシアの長い底辺を見る思いであった。

大会は、30歳以上から5歳刻みのクラスごとに順位を争う方式だが、第1距離（1回目の500m）の組み合わせはクラスを超えてタイム順にペアリングされている。10時、女子グループの第1距離からスタート。

14時、30歳～65歳の男子の第1距離開始。さすがにオランダ、ロシアなど外国選手は強く、55歳～60歳のクラスでもトップの500mは39秒台。65歳～70歳でも43秒台。日本選手も65歳～70歳で45秒台を出す選手もいて健闘した。

15時30分、30歳～65歳の男子の第2距離（1回目の1000m）をカルテットで開始。55歳～60歳のクラスのトップは1分16秒台。65歳～70歳は1分27秒台。「これは年寄りの大会ではない。まさにマスターズの大会だ！」とは日本人選手（70歳）のため息……。私も選手として参加しました。66歳から70歳のクラス15人の選手中11位でした。

3月4日 大会第2日目

この2、3日温かくなっても、今朝の気温は-17℃。朝から細かい乾いた雪が降っている。大会第2日目も昨日と同じタイムテーブルで第3距離（2回目の500m）と第4距離（2回目の1000

m）の競技が行われた。日本人選手は昨日より体が動くせいか、好タイムが出ていた。自己のシーズンベストを記録した選手も多い。

17時にすべての競技が終了。18時30分から表彰式とパーティ。競技の時とは打って変わって、女性はみなドレスアップしているので別人のように見える。日本人女性は着物を着ていて、あちこちで



2018/03/05

「ビューティフル!!」の声。シャンパンを片手にいたるところで参加者は写真を撮り合っている。言葉は片言でも通じてしまうところが楽しい。

表彰式が始まった。表彰は年齢グループごとに行われた。食事を楽しみながらの表彰式が終わると、ロシアの女性グループのバンド演奏が始まり、フロアではダンス、ダンス、ダンス。外国人は本当にダンスが好きだ。我々も時の経つのを忘れて踊った。そして23時30分を過ぎてもまだダンスは続いていた。実に5時間を超えるパーティー！こういうところにも外国人の身体的・精神的な強さがあるのだろうと改めて感じた。雪の舞う夜のモスクワのパーティーはいつまで続くのだろうか……。

2月議会報告

さいたま市議会議員 としまみ敏行

「うらわ宿」愛読者、後援会の皆さんこんにちは。例年より早く桜が開花し、この報告がみなさんのお手元に届くころはもう桜も散っていることと思いますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、2018年度の予算を審議する2月議会は、2月6日から3月16日まで39日間に渡って開かれました。党市議団は、市長提出議案94件のうち75件に賛成し、19件に反対しました。

また、今議会では議案提案権を使って「小・中学校の給食費（月額1000円）補助条例」案を提出しましたが、自民、公明、民進・立憲・改革、自民真政などの反対で否決されました。さらに、2018年度予算は、総額9935億円について、相変わらぬ大型予算だけが聖域扱いで、ため込んだ基金が630億円にもなるのに、国保の県

単位化による国保税1人平均1000円の値上げを強行しました。あと2億円を基金から取り崩せば値上げせずに済みます。党市議団は、「市民の暮らしの現実をアベノミクスによる格差と貧困の広がりの中で、10年前より税負担が増えていることを指摘し、市民の暮らしを支える予算に切り替えることを求めて予算案に反対しました。

今議会には、埼玉弁護士会有志（22人の埼玉弁護士会会長経験者）連名による憲法9条を守る請願が提出されました。多くのみなさんの努力が実り、「国民に対する憲法をめぐる諸課題の丁寧な説明を求める意見書」としてまとめられ、採決されました。党市議団は、2018年新年度にあたり、憲法改悪絶対阻止、3000万人署名成功、安倍内閣総辞職を求める運動と合わせて、市民の暮らし優先の市政を実現するために決意を新たにしました。みなさんのお力添えをよろしく願います。



今月号は浦和区革新懇の紹介です。世話人代表の丹生淳郷さんからお話をうかがいました。革新懇は1981年に各界127名の人々や団体、政党では日本共産党の参加のもとで結成されました。前年の1980年に日本社会党（当時）と公明党の結んだ社公合意を受けての結成で、憲法と平和を守る運動を中心に幅広い統一戦線をめざしました。今日の市民と野党の共闘を先取りした先駆的な活動と言えます。

革新懇は市民と野党の下支え 浦和革新懇代表世話人の丹生淳郷さんに聞く

丹生さんは、1981年から2005年にかけて闘われた日本ケミファ争議の初代執行委員長、全労連全国一般労組埼玉本部委員長、埼労連副議長、第1・2期労働審判員、県環境審議員などを歴任。現在は日本科学者会議埼玉支部事務局長を務め、安保法違憲埼玉三次訴訟の原告にもなっています。

丹生さんに浦和区革新懇の活動と最近の思いを語っていただきました。（聞き手 阿久津）

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

浦和区革新懇の結成は2010年ですが、結成時から世話人代表をしています。現在会員は66人。100人を目標にしています。月

1回の世話人会議では、毎回参加者の近況報告をしてもらいます。仕事、活動、趣味、健康、家族などが出されます。参加する人が主役になる時間が大事なので続いています。

2015年9月19日に安倍内閣の下で憲法違反の戦争法（安全保障関連法）が強行採決されたことを機に、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める」市民と野党の共闘が大きく前進しました。浦

和区でも「オール浦和区の会」がつくられ、革新懇はこの運動の下支えとして奮闘してきました。浦和は県中央部のため他の地区と違って様々な運動が開催され、いろいろな団体の役員をされている方も多く結集がむずかしいのですが、イベントを開催したりして、革新懇を広げていきたい。革新懇の3つの共同目標はわかりやすいので、広くゆるい結びつきをつくっていきたくと思っています。若い人にどうやって関心をもってもらうか。若い人や女性に広く参加してもらい活性化することが求められています。また、会員に教員の人が多いので、運動として教育のテーマに取り組んでもいいと思っています。日本人は教育は授かるものという受け身の感覚があると思います。この感覚を変えていかないといけないと思っています。